

NPO 法人岡崎がくどうの会

2023年度 学童保育指導員研修 レポート

(しょうがいのある子どもの理解と援助)

【クラブ】(つくしクラブ)

【名 前】(石田みゆき)

本日の研修で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください(自由記述)。

今回の講義は、「しょうがいのある子どもの理解と援助」というテーマでした。

しょうがいを持っている子に対して、その子が変わっていくように支援していくのではなく、環境を整えることによってしょうがいを持っている子も活動に参加できるように支援していくといった捉え方が大切だというお話を聞き、今までそういう考え方をしていなかったので、衝撃を受けました。

また、日本人が「しょうがい」と捉えているのは主に医療の分野であるというお話でしたが、私も今までは医療的な部分での認識しかありませんでした。

しかし、この認識だけでは不十分であり、活動や参加の部分への支援もとても重要で、学童においてはむしろこちらの支援がメインになるということを学ぶことができました。

相手の気持ちを推測することが難しい子や複雑なルールを理解することが難しい子どもたちがみんなと遊んだり関わるができるように、環境の方を変化させ、整えていくことで参加できるように支援していく。

指導員としてそういった支援をするためには、子どもたちが何に困っているのか、どんな支援を必要としているのかに気付けなければ何もできないので、もっともっと子どもたちの様子や言動に気を配り、少しでも想いを汲み取れるように努力していきたいと思いました。